

災害(地震)対応マニュアル

(学生用)



地震発生時

①身の安全を確保する

- ◆机の下に身を隠す
- ◆バッグなどで頭を保護する
- ◆テレビ・照明器具・自販機・ブロック塀などから離れる
- ◆ガラスなど落下物に注意
- ◆ドアなど避難口を確保する
- ◆火を消す
- ◆薬品などに注意
- ◆靴を脱がない

グラッときたら身の安全

大きな揺れを感じたら、まず身の安全を図り、揺れがおさまるまで様子を見る。



あわてた行動 けがのもと

屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。



門や塀には近寄らない

屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らない。



窓や戸を開け 出口を確保

小さな揺れのととき又は揺れがおさまったときに、避難できるように出口を確保する。



【大学にいる場合】

本学では、「緊急地震速報装置」を設置しています。
推定震度5弱の地震が発生した場合に稼動し、構内一斉放送でお知らせします。

- ①教職員の指示に従う
 - ◆教職員の指示に従い安全な場所に避難する
 - ◆教職員が避難者の名前を確認するので協力する
 - ◆負傷者の応急手当に協力する
 - ◆初期消火に協力する
 - ◆帰宅するときは教職員に届け出る
- ②大学指定避難場所で待機する
文京キャンパス・八王子キャンパス P 5 地図参照

協力し合って救出・救護

倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。



【大学以外にいる場合】

- ① 自宅（実家）にいる場合は安全な場所に避難する
 - ◆大学に何らかの方法で安否を連絡する
（学年、学科、学生番号、氏名）
- ② アパート等にいる場合は親などに居場所を知らせ安全な場所に避難する
 - ◆災害伝言ダイヤル「171」を利用する
 - ◆大学に何らかの方法で安否を連絡する
（学年、学科、学生番号、氏名）
- ③ 登校・下校途中の場合は、直ちに帰宅するなど適切な行動をとる
 - ◆親などに居場所を知らせ安全な場所に避難する
 - ◆災害伝言ダイヤル「171」を利用する
 - ◆帰宅したら大学に何らかの方法で安否を連絡する
（学年、学科、学生番号、氏名）

国からの警戒宣言(東海地震)が発令されたら

(警戒宣言とは数時間～2・3日以内に大地震発生との警告)

- ①警戒宣言が発令された場合や大地震発生と同時に大学は休講となります
(大学から休講解除の指示があるまでの間)
- ②登校・下校途中の場合は、直ちに帰宅するなど適切な行動をとる
- ③授業・課外活動中など大学内にいる場合は大学の指示に従う
 - ◆教職員の指示に従い安全な場所に避難する
 - ◆教職員が名前等を確認する場合があるので協力する
- ④自宅(実家)にいる場合は安全な場所に避難する
- ⑤アパート等にいる場合は親などに居場所を知らせ安全な場所に避難する

正しい情報 確かな行動

ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る



普段からの心構え

- ①普段からあらゆる場面を想定しておきましょう
 - ◆災害時に冷静に対応できるように
- ②避難路・避難場所・避難具・消火器を確認しておきましょう
 - ◆教室で、図書館で、学生ホールで、学食で、通学途中で、などなど…
- ③帰宅経路を確認しておきましょう
 - ◆警戒宣言発令や大地震発生の場合、交通機関は運行中止となることがあります
- ④自宅(実家)への連絡方法も確認しておきましょう
 - ◆災害時は災害伝言ダイヤル「171」が利用できます(利用方法はP4を参照)

災害用伝言ダイヤル情報

災害用伝言ダイヤルは地震、噴火などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始されます。

利用できる電話

災害用伝言ダイヤルの伝言登録、再生の利用可能な電話は一般電話（プッシュ回線、ダイヤル回線とも）公衆電話、INSネット64・1500、メンバーズネット並びに、災害時、NTTが避難場所などに設置する特設公衆電話から利用できます。携帯電話・PHSからも利用できます。

利用方法

171をダイヤルし、利用ガイダンスに従って伝言の録音・再生を行って下さい。



災害用伝言板

震度6弱以上の地震など大規模な災害が発生した場合に開設されます。ご自身の持つ携帯電話会社の災害用伝言板へアクセスし、安否情報を登録することができます。登録されたメッセージは、インターネットを通じて携帯電話やPC等から確認することができます。

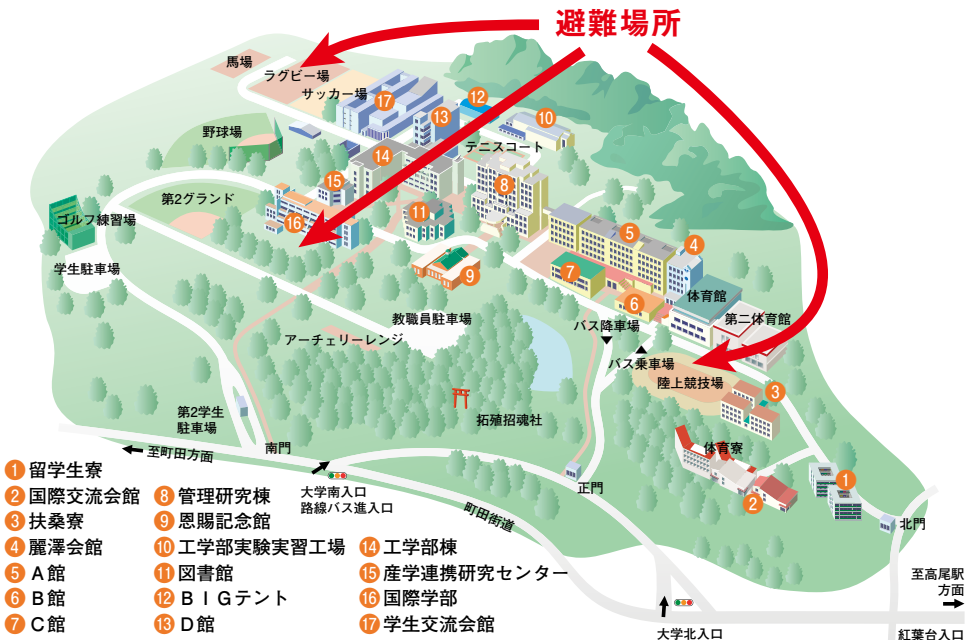
利用方法は携帯電話会社によって異なるため、事前に自分の使用している携帯電話会社の利用方法を確認しておくことをお勧めします。

避難場所

文京キャンパス



八王子キャンパス



※八王子キャンパスは、八王子市の広域避難場所として指定されています。
 災害時には学生の皆さんのボランティア協力をお願いします。

「災害(地震)対応マニュアル」
2011年4月発行(第4版)

発行者：拓殖大学総務部総務課
電話：03(3947)7111

協 力：東京消防庁小石川署
挿絵等は、東京消防庁HPより抜粋させていただきました。

印 刷：忠栄印刷株式会社